

外観



体育会系クラブの活動も充実している、大阪商業大学。地下2階・地上3階建ての総合体育館は、巨大アリーナや武道場のほか、本格的なトレーニングルームも完備している。

1F エントランス



学生スポーツの積極的な振興を進める大阪商業大学では、クラブ活動が盛んに行われている。これまでの功績を称え、エントランスには数々のトロフィーや楯などを展示している。

B1F 男性トイレ 小便器コーナー



小便器は水流を利用して自己発電する、電源不要の自動洗浄小便器を設置。ライニングに甲板を取り付け、荷物置きスペースに利用できるよう配慮している。

B1F 男性トイレ 大便器ブース



男女トイレで採用されているパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式は、便器を設置したまま詰まりを除去できる。メンテナンス性に優れた掃除口付きタイプを採用している。

B2F 女性トイレ 洗面コーナー



洗面コーナーは、視線を気にせず利用できる照明付き個別鏡と身だしなみを整えられるよう全身鏡を設置。

B2F 女性トイレ 大便器ブース



休憩時間など、集中利用時のトイレの混雑緩和に備えて、約20秒で次の洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。

3F 男性トイレ 小便器・手洗いコーナー



武道場横にあるトイレは、他のトイレとはテイストを変え、「和」をイメージした木目調の内装としている。小便器の足元は、菌の繁殖を抑制するハイドロセラフロアPUを採用。

3F 男性トイレ 大便器ブース



トイレの洗浄ボタンは押すと発電し、電池交換が不要なエコリモコンを採用。さまざまな使用者を想定し、手すりを設置している。

B1F 女性トイレ 洗面コーナー・大便器ブース



洗面コーナーは、荷物を置いて手が洗えるようライニングを設置。大便器ブースは、ブース間の仕切りを天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。

B1F 男性トイレ 洗面コーナー



洗面器は深いボウルで手が洗いやすい壁掛ハイバック洗面器を設置。水栓金具は電源不要で使える、発電タイプの自動水栓を採用している。

建築概要

名称	大阪商業大学 総合体育館
所在地	大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
施主	学校法人谷岡学園
施工	株式会社村本建設
竣工年月	(改修)2019年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
大阪商業大学は、大阪府東大阪市に本部を置く私立大学。現在、中長期ビジョンのもとキャンパス整備計画を推進。学内のトイレ改修工事は、その一環である。このたび改修を実施した「総合体育館」は、1981(昭和56)年に建てられた地下2階・地上3階建ての施設。授業・課外活動はもちろんのこと、一般学生の利用も可能で、アリーナをはじめ、トレーニングルームや武道場を備えるほか、教員研究室や課外活動支援室が設置されている。建設から40年近く利用されたトイレは老朽化が進み、そのほとんどが和式便器であったため、洋式化と省エネ化を基本とし、学生・職員はもとより、試合で訪れる学外からの選手や観客も利用しやすいトイレへと改修されている。

<トイレの特長>
今回の改修は、TOTOへ依頼したトイレレイアウトを参考に検討。施設担当者はTOTOテクニカルセンター大阪で行われた大学トイレセミナーにも参加し、そこから得られた学生に必要な配慮や情報が、改修に反映されている。洋式化の工事は短工期で行えるTOTOのオリジナル技術、和洋リモデル工法を採用し、節水型便器へ改修するなど省エネ性の高い器具を選定。また、武道場があるフロアのトイレは、「和」をイメージした木目調の内装とし、近年増えている留学生にも和の趣を感じてもらえるようテイストを変えている。